

お茶の水女子大学の教育と研究の特色

新たな学士課程教育

お茶の水女子大学では、新たな学士課程教育を開始しました。「21世紀型文理融合リベラルアーツ」と「複数プログラム選択履修制度」です。その特色は、学生が主体的に学び、思考の柔軟性を訓練することにあります。

「21世紀型文理融合リベラルアーツ」の科目を初めて履修した学生からは次のような感想が寄せられました。

「今までとは違った視点から学ぶことができよかった」
 「理系でも文系科目の講座に参加できて、すごく面白かった」

「文系・理系の科目をあまり気構えずに受講できて本当によかった」

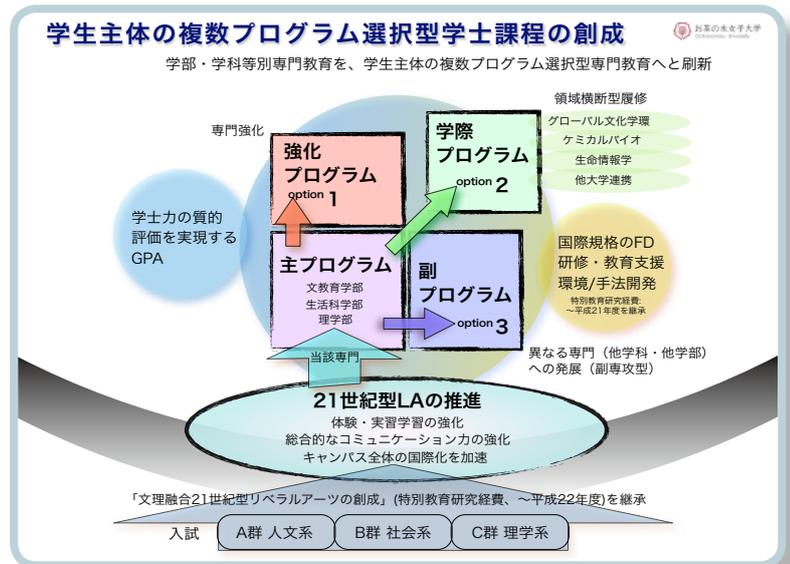
私たちの前に立ち現れる問題には当然のことながら文系理系という区別はなく多様で複雑です。例えば、エネルギー問題や、iPS細胞研究の臨床応用が提起される時に生じる問題を考える際にも、検討すべき課題は学問の領域を超えますが、そのときには確かな専門的知識と同時に、専門を超える柔軟な思考方法が必要になります。

「21世紀型文理融合リベラルアーツ」教育は、その柔軟な思考を身に付けることを意図したプログラムです。現在、「生命と環境」「ことばと世界」「色・音・香」「生活世界の安全保障」「ジェンダー」という5つのテーマを設定していますが、これらのテーマについて、文系理系の教員がそれぞれの専門的立場から議論することで、同じ問題に対する複数のアプローチの仕方を学ぶことになります。

「21世紀型文理融合リベラルアーツ」教育を開始したのは2008年ですが、昨年2011年からはさらに学部専門教育として「複数プログラム選択履修制度」を開始しました。この制度では、学生が主体的に専門的知識を深めるために複数のプログラムを設定しています。

この制度では、選択した専攻（主プログラム）を発展させる方法として、主プログラムの専門をより深く追求する履修方法（強化プログラム）、主プログラムの関連領域へと学びを広げる履修方法（副プログラム）、主プログラムを核に複合的な領域を学ぶ履修方法（学際プログラム）があります。

学生が自らの問題意識に応じて主体的に専門性を高めるこのシステムは学生の自律性と、優秀な教員の丁寧な教育体制によって初めて有効となる教育体制であると考えています。



複数プログラム選択履修制度と
21世紀型文理融合リベラルアーツ教育

教育と研究の協働体制

このような本学の教育の特色である学生の主体性の尊重と柔軟な思考の練磨は、大学院博士課程教育の特色でもあります。

今から36年前に本学に博士後期課程の大学院が新設されましたが、この大学院には社会人経験者が多く在籍し、学際的研究を特色としていました。現在でも、3つの学部が大学院では1研究科となっていることにも明らかのように、本学では、大学院においても異なる領域の学術的交流が活発です。

学問は社会から提示される問題に対して敏感でなくてはなりません。そのためには既存の専門領域を超える力が必要です。この教育方法を支えているのが教育を担う教員の研究力の高さにあります。優秀な研究者が教育に携わり、研究と教育が一体化していることも本学の教育の特色です。

お茶の水女子大学の研究は、基礎研究を基盤とし、「人と社会と共に在る研究」、あるいは「生活者の視点」を特色としているといえますが、社会に対して専門的知識を如何に活かすことができるかという視点をもった研究姿勢は、学部と大学院に共通の研究体制とも深く関連しています。

一人の人間として社会の現状を認識し、専門的見地から未来を見据えて発言できる優れた研究者を育成することをお茶の水女子大学は目指しています。

国立の女子大学としてのリーダーシップ教育

さらに、最も歴史のある国立の女子大学として、お茶の水女子大学では女性リーダーの育成にも力を入れ、とくにグローバルに活躍できる力を蓄えたリーダー育成を行っています。

2010年に閣議決定された「第3次男女共同参画基本計画」に記されているように、現在女性の社会的活躍が期待され、特に、意思決定過程に関与する女性を育成することが望まれています。

本学のリーダーシップ教育では、「知性」「心遣い」「しなやかさ」をキーワードとしていますが、国立の教育研究機関として、高度な専門性を身に付けていること、他者の考えや立場を配慮できること、しなやかな強さをもって行動できることが、リーダーの資質として重要であると考えてのことです。

リーダーシップの授業には、お茶の水女子大学の歴史や教育、研究の理念を学ぶ「お茶の水女子大学論」がありますが、その他に企業との共同プログラムをはじめ、キャリア教育などいくつかのプログラムを開設しています。

さらに今年度、グローバルに活躍するための外国語教育や海外派遣プログラムも開設することになりました。



お茶の水女子大学論での講義

学生への期待—知識、見識、寛容さ—

優れた素養のある学生が、お茶の水女子大学で学び、力強く未来を創造することを願い、本学では教育課程の改革を進めてきました。その根底にある教育の理念は、知識と見識と寛容さです。本学の教育を通して高度な専門的知識を身につけ、適切に判断する見識を持ち、他者に対して寛容に対処し、自らを輝かせつつ社会を担うことを学生には期待しています。

2012年秋

お茶の水女子大学長
羽入 佐和子